ひがしいるま

東入間

こんじゃくマップ

今昔MAP

東入間とは

埼玉県の富士見市、ふじみ野市、三芳町、2市1町の呼び名です。
由来は「入間郡」からきており、かつて県西部の大きな部分を占めていた「入間郡」を川越を中心に東西に分け、東側を『東入間』と呼びました。

JCI 一般社団法人東入間青年会議所

東入間ＪＣ 検索

■ふじみ野市エリア

①権現山古墳群権現山

古来、この地は権現山と呼ばれ、徳川家康一行が鷹狩りにきた際に休息したと伝えられる。塚の上には「東照神祖命」と刻まれた小さな石碑が建てられている。権現山は家康を「東照大権現」と呼ぶところからきている。権現山古墳群は、古墳時代初期の建造当時の姿を良くとどめていることから、平成14年に埼玉県の文化財に指定されました。

②富士塚

富士塚は、富士信仰に基づき、富士山に模して造営された人工の山や塚で、富士山の溶岩を積み上げたものや、すでに存在した丘や古墳を利用したものがある。頂上には浅間神社を祀り、関東地方を中心に分布し、基本的に富士塚の上から富士山をのぞむことができるように築造されるが近年の家屋の高層化に伴い直接富士山を視認できるものはほとんどない。二市一町内でも各所に富士塚を見ることができる。

③苗間神社赤レンガ灯籠

高さ6メートル、屋根以外はすべてレンガで積み上げられた燈明台です。明治期に当時の苗間村の安全を祈願して苗間神明神社に奉納されました。

④大井戸

大井町の名前の由来となった井戸で、平安時代に掘られたものと推定されています。昭和50年の発掘時には、井筒内に礫が崩れ落ちていましたが、この石組みだけは、当時の状態のまま残っており、貴重な発見となりました。

⑤弁天の森

かつては江戸時代寛政年間に建てられた弁天堂があり、その堂の前には清水が湧いたという。この弁天堂の安置された弁財天は、上野の不忍池を分霊したものだったらしいが、病を治す効能があると言う事で信仰を集めた。

⑥織部塚

16世紀末頃、大井の開拓に尽力した大井四人衆の一人、新井織部をこの塚に埋葬して祈ったものと言われています。

⑦大杉神社

旧上福岡には、船頭たちが多く住んでおり、文政9年(1826)に「船中安全村中安穏」の石碑が建てられ、明治11年(1878)に大杉神社が建てられました。神社が建立されてからは、新河岸川を通る船頭たちは、神社の前を通過するたびに、神社に向かってお賽銭を投げていたそうです。2012年に古くなった社の解体、再建がされました。

⑧角の常夜灯

元禄7年(1694)上富村(三芳町)の開発により開かれた道です。阿夫利神社に向かう最初の曲り「角」に建つ常夜燈なのでそう呼ばれました。享和2年(1802)に建てられました。交通事情の変化により現在地に移されている。

⑨地蔵院

武蔵野地蔵尊とも呼ばれ、鎌倉時代に創建され、本尊は二尺五寸の地蔵尊座像。昭和27年火災により、江戸時代文化年間建立の本堂など焼失。残ったのは本尊と山門だけである。また、境内にある「しだれ桜」は樹齢350年以上と推定され市の天然記念物に指定されている。

⑩福岡河岸記念館

明治初期(1870年頃)に建てられた問屋「福田屋」を移築保存している建物。福田屋は、福岡河岸で回漕業と肥料・薪・農産物の仲買い商として繁栄しました。屋敷の敷地内に、最盛期には18棟もの建物がありました。その中で、現在は母屋・台所、離れ、文庫蔵の3棟が残っており、資料等も見られる記念館になっています。

関東の富士見百景(東入間地域)

びん沼周辺(富士見市)

富士見市境を流れるびん沼川は周辺市町から釣り人が訪れる釣りの名所。びん沼周辺地域は野鳥の生息地としても有名で、川沿いの湿地帯にビオトープ型のびん沼自然公園が開設されている。川沿いから、特に空気の澄んだ冬場を中心に美しい富士山が見られる。

新河岸川堤防(ふじみ野市)

新河岸川堤防からは、秩父武甲山から丹沢大山の山並み、ふじみ野市が一望できる。富士山は10月から4月の晴れた朝と夕方に見られる。新河岸川の堤防は市民の憩いの場となっており、まれにキツネやタヌキ等の野生動物の姿が見られる。

武蔵野からの富士(ふじみ野市)

武蔵野からの富士は、江戸時代の地誌『新編武蔵風土記稿』の亀窪村(ふじみ野市の一村落)の紹介の中に「かかる名高き所のわづかにも存して、今見ることをうるは当国にとりては美事」と記されており、現在も変わらない富士山を見ることができます。

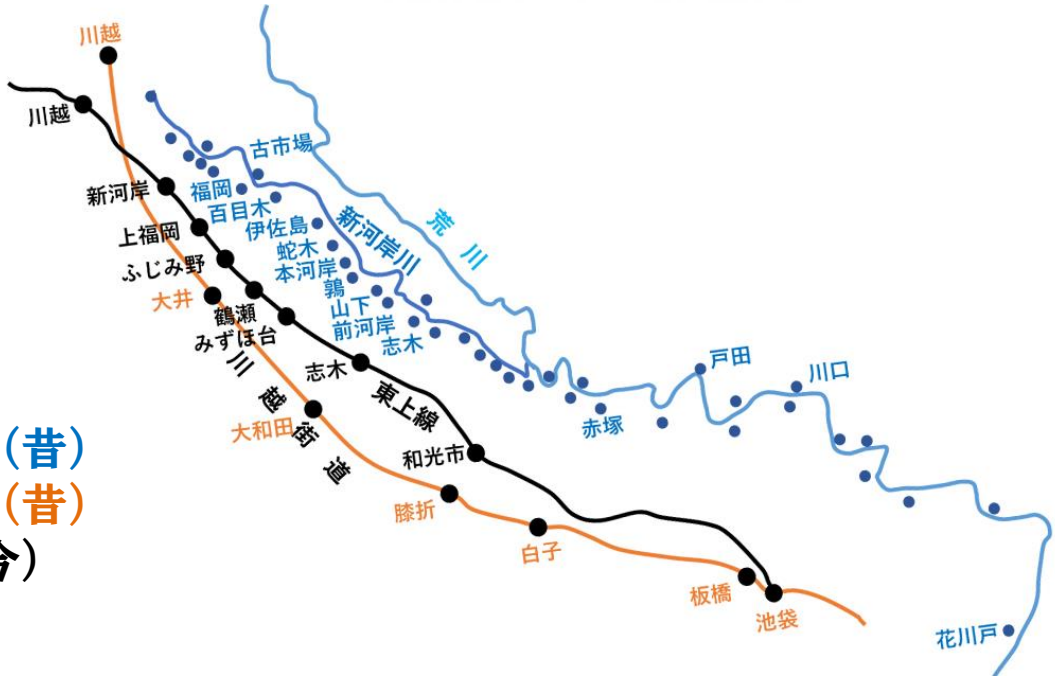
東入間今昔マップ

大正時代の鶴瀬駅　現在の鶴瀬駅　現在の養老橋　大正時代の養老橋

三富新田（三芳町）から望む富士山

現在の川越街道

昭和時代の川越街道



新河岸川の河岸場（昔）
川越街道の宿場町（昔）
東武東上線の駅（今）

■富士見市エリア

①難波田城公園

難波田城は中世に富士見市を本拠として活躍した難波田氏の居城跡です。難波田城公園は文化遺産を保存し、園内には難波田城資料館や城跡を復元した「城跡ゾーン」、古民家を移築した「古民家ゾーン」があり、富士見市の歴史や文化を肌で感じる事が出来ます。

②山形桶管

生活排水を新河岸川へ放流するためと新河岸川から住宅地への洪水時の逆流を防ぐものとして作られました。また、この近辺の旧住所が下南畑山形と言ったところで名付けられました。

③水子貝塚

水子貝塚は、縄文時代前期を代表する貝塚として昭和44年に国の史跡に指定されました。その後遺跡の保存と整備の活動が行われ、平成6年に水子貝塚公園として開園しました。園内には5軒の竪穴式住居の骨組みが復元されています。

④子待塔

水子貝塚の近くにひっそりと立つ子待塔（ねまちとう）という灯籠があります、これは大黒天を礼拝本尊として豊作や金銭に不自由しないなどのご利益を願って、大黒の使いであるネズミにちなんで供養する行事の為に建てられたもので、明らかな子待供養の石造物としては、日本最古だそうです。

⑤コロボックルの碑

住宅街の中にひっそりと石碑が佇んでいる。明治40年、貝塚調査の際に、出土した土器や石器は、コロボックルの残したものと説明されたと言われています。当時、今でいう縄文人は、アイヌ伝承の先住民・コロボックルであるという説とアイヌ説とがあり。そのような学説があった証拠として、学史上の意義があります。

⑥雲居の滝

滝壷を地中に3メートル程掘り下げて作った人口の滝です。水源は後に続く弁天の池です。薄暗い谷間に終日水音が聞かれたと伝えられていますが、現在は音無しの滝となっています。また周辺には、約6000年前の自然が残されています。

⑦オトウカ山

名前の由来は、その昔キツネ（お稲荷）が住みついていたことからと伝えられています。以前は、畑の中にこんもりと雑木の茂姿が予億からでも見えました。かつて、山の上には「富士浅間太神」の石の祠があったことから浅間神社を祀った浅間塚ではないかと考えられています。

⑧栗谷津公園

富士見市には沢山の湧水があるが、その一つで昭和の区画整理以前の姿をそのまま残している湧水公園です。周囲は高台で、公園はすり鉢状の窪地になっています。しかもすり鉢の底には湧水の池があります。

■三芳町エリア

①広源寺

曹洞宗、大栄山広源寺は川越街道の成立や藤久保の開拓着手の時期に当たる寛永16年（1639）、竜国呑海和尚により創建されたと言われ。　本尊には、釈迦如来坐像を安置する。また、明治七年に藤久保小学校が開設された所でもあり、三芳町の教育を語る際には欠かせぬところでもあります。

②多福寺

臨済宗。三富山多福禅寺と号し、本尊は釈迦如来座像です。三富開拓入植農民の菩提寺として元禄9年（1696）に創建。境内には元禄の井戸や県指定文化財の銅鐘、三芳町指定文化財の穀倉などがあります。

③旧島田家

三芳町指定文化財。江戸時代文政年間（1818～29）の建築と推定される町内最古の民家。喰違い型4間取りで、建坪55坪。建築当初の形態に復元され、保存活用されています。

④けやき並木

地区の中央を南北に貫く六間道。開拓当時に道の両側に植えられたケヤキが美しい並木を作っています。このケヤキ並木沿いには、開拓当時からの農家が並び、当時の雰囲気がよく残っています。樹齢数百年と言われる木が歴史を感じさせます。

⑤三富新田開拓地

元禄7年（1694）～9年にかけて川越藩主柳沢吉保の命により行われました。1，400haに及ぶ畑作新田開発。三富とは上富村（現三芳町）、中富村、下富村（現所沢市）の三カ村の総称です。また、畑が整然と並んでいる上富の地割り遺跡は「三芳町みどりの景観八景」の1つに選ばれています。

⑥木ノ宮地蔵堂

木ノ宮地蔵堂は富の地蔵様として、古来より人々に親しまれている。江戸時代に書かれた古文書によると、延暦二十四年（805年）に建立されたと伝えられている。また、寛永十九年（1642）に焼失したが、元禄九年（1696）に再建し、七十年ほど経つと破損がひどくなった為、安永六年（1777）に現存する地蔵堂を完成させたと記されている。

⑦三芳町歴史民俗資料館

歴史民俗資料館の庭に移築復元された茅葺き屋根の民家。江戸時代末期から明治時代初期の建築と推定されます。建坪66坪。三列三段9間取りの大型家屋です。三芳町指定文化財。

⑧こぶしの里

「こぶしの里」には春になると、コブシの白い花でいっぱいになります。川ではザリガニ釣りに熱中する子供達の姿も見られます。また、6月上旬から中旬に掛けてホタルを見るイベント等も行われています。

東入間２市１町の概要

富士見市
CITY OF FUJIMI

主な名産品
砲丸投げ用砲丸
梨 手づくり味噌
米 トマト かぶ

市の木：ケヤキ　　市の花：フジ　　市の鳥：カワセミ

面積　１９．７７ｋ㎡　　総人口　１１０，８８６人

ふわっぴー

なりたち

明治２２年の町村制施行により、鶴瀬村（鶴馬村と勝瀬村が合併）・南畑村（上南畑村と下南畑村と南畑新田村と東大久保村が合併）・水谷村（水古村と針ヶ谷村が合併）ができ、昭和３１年に３村が合併して富士見村に、昭和３９年に富士見町に、そして昭和４７年に富士見市になりました。

富士見市マスコットキャラクター「ふわっぴー」

「ふわっぴー」（左）は、２０１２年、市制施行４０周年記念式典で市民のみなさんの前に初登場しました。富士見市に住む４才の元気な男の子で双子の妹（右）と、富士見市の魅力をひとりでも多くの方に知っていただけるように、元気な笑顔で活躍しています。

ふじみ野市
City of FUJIMINO

主な名産品
座敷ぼうき ほうれん草
小松菜 水菜
ちんげん菜 えだまめ

七夕まつり　　おおい祭り　　地蔵院のしだれ桜

面積　１４．６７ｋ㎡　　総人口　１１４，０５８人

ふじみん

なりたち

明治２２年の町村制施行により、川崎村・福岡村・中福岡村・福岡新田・駒林村が合併して福岡村が、鶴岡村・亀久保村・大井村・苗間村が合併して大井村が誕生しました。昭和３５年に福岡町に、昭和４１年に大井町に、昭和４７年に上福岡市になり、そして、平成１７年に上福岡市と大井町が合併してふじみ野市になりました。

ふじみ野市マスコットキャラクター「ふじみん」

天然記念物にもなっている（しだれ）桜の花びらの妖精です。
富士山ビュースポットから見る富士山を頭に、服には市章をあしらい、上福岡七夕まつりの飾り付けをイメージした色とりどりのスカーフをつけ、ふじみ野市の特色てんこ盛りにした愛らしいキャラクターです。

三芳町
Miyoshi Town

主な名産品
富の川越いも そば
狭山茶 ほうれん草
さといも にんじん かぶ

市の木：ケヤキ　　市の花：キク　　市の鳥：ヒバリ

面積　１５．３０ｋ㎡　　総人口　３８．４０４人

みらいくん　　のぞみちゃん

なりたち

明治２２年の町村制施行により、上富村と北永井村と藤久保村と竹間沢村が合併して三芳村になり、昭和４５年に三芳町になりました。

三芳町マスコットキャラクター「みらいくん」「のぞみちゃん」

三芳生誕１００年を記念し、１９８９年に「みらいくん」（左）は誕生し、三芳の未来を創るということでと名付けられました。みらいくんは「水の精」で一滴の「水のしずく」がやがて流れとなり、川となって大海にそそぐ、自然界の源、生命の源ともいうべき「しずく」のいきいきとした躍動感を表したものです。そして、「のぞみちゃん」は町制施行４０周年を記念し、２０１０年にみらいくんのガールフレンドとして誕生しました。

東入間青年会議所の歩み	東入間地域の主な出来事
１９８３年　上福岡青年会議所創立	上福岡市立歴史民俗資料館開館 富士見市立水谷中学校開校 藤久保東第二遺跡から県内最古級（約30,000年前）の局部磨製石斧が出土
１９８４年　経営系事業・体験型事業を多数開催	富士見市立針ヶ谷小学校開校 富士見市民プール『ガーデンビーチ』開園
１９８５年　東入間青年会議所に名称変更 『少年サッカー教室・講演会』開催（釜本邦茂氏）	上福岡市が非核平和都市を宣言
１９８６年　『家族教育における親の役割とは』開催（志村友里江氏）	三芳町立歴史民俗資料館開館
１９８７年　東入間少年サッカー大会開催（現在も継続） モザンビーク共和国へ救援物資を贈る	東武東上線と有楽町線の相互乗り入れ開始 富士見市が非核平和都市を宣言 大井町が緑と平和の都市を宣言
１９８８年　さいたま博覧会ＰＲイベント『ツール・ド・サイタマ』開催 ペタリングジャヤＪＣ（マレーシア）と姉妹提携（現在も継続）	大井町立図書館・郷土資料館開館 旧池上家住宅竹間沢・こぶしの里オープン
１９８９年　社団法人格取得 『体験 熱気球・東入間コンサート（ワイルド・ワンズ）』開催	三芳生誕100年を記念しマスコットキャラクターみらいくん誕生
１９９０年　２市２町合併運動総会決議 『東入間サマーコンサート　サウンドエナジー』開催	町制施行20周年みよしまつり開催
１９９１年　『サウンドエナジー‘９１』開催（ビギン） 『アースアワーホームイン東入間』開催（C.W.ニコル氏）	富士見市学校給食センター完成
１９９２年　創立１０周年記念事業開催（東入間の歌『心の中に』記念植樹）	鶴瀬西配水場完成
１９９３年　ＪＪＳ（ジュニアＪＣスクール・後の自然探検クラブ）開催 市民交流会議開催	東武東上線に『ふじみ野駅』が開業 日本初アウトレットモール『アウトレットモール・リズム』開業
１９９４年　２市２町デザインサミット開催 ニコニコ未来会議開催	三芳町役場庁舎が現在の位置に移転 上福岡市民図書館開館
１９９５年　『サウンドエナジー‘９５』開催（タケカワユキヒデ氏） 『東入間未来フォーラム』開催（櫻井よしこ氏）	入間東部みよしの里開設
１９９６年　『三富物語　ウォークラリー』開催 ２市２町各議会に合併の請願書を提出	三富開拓300年記念事業として上富に旧島田家住宅が移築復元 福岡河岸記念館開館
１９９７年　ＪＪＳから自然探検クラブに名称変更 『東入間の日‘９７　コミュニティＦＭ』開催	三芳町が非核平和都市を宣言 富士見江川プロムナード完成
１９９８年　絵画コンクール開催 『東入間の日‘９８　地域はひとつやる気ＭＡＮＭＡＮ』開催（吉田照美・小俣雅子氏）	羽沢遺跡出土縄文土器が県の有形文化財に登録 水子貝塚公園に展示館開館
１９９９年　住民発議合併協議会設置請求署名運動 『東入間の日‘９９』開催	２市２町各議会で合併協議会に関する協議について可決 富士見市の人口が10万人を超える 富士見市立ふじみ野小学校開校
２０００年　『東入間の日２０００　素敵な笑顔集まれ』開催 ２市２町の首長をお招きして合併に向けての勉強会を開催	２市２町合併協議会を設置 難波田城公園・資料館開園 大井町の人口増加率が埼玉県内第1位となる 上福岡市総合センター『フクトピア』開館
２００１年　『東入間の日２００１　東入間オリンピック』開催	『新市将来構想（まちづくりビジョン）』が作成される
２００２年　創立20周年記念事業開催（『東入間元気まつり』） 合併フォーラム開催	富士見市民文化会館『キラリ☆ふじみ』開館 三芳町文化会館『コピスみよし』開館 大井町旧役場庁舎が国の登録有形文化財に登録 権現山古墳群が県指定文化財に登録 上福岡市内小・中学校全校の校名変更
２００３年　２市２町合併住民投票 埼玉ブロック協議会会員大会主管	合併特例法第５条による『新市建設計画』を作成し ２６項目の合併協定項目の協議を終える 住民投票の結果２市２町（富士見市・上福岡市・大井町・三芳町）での合併が破綻
２００４年　東入間ムーンライトウォーク開催 富士登山事業開催	大井町が全国の町村の人口密度では日本一となる 上福岡市・大井町法定合併協議会を設置
２００５年　現『東入間まちづくり宣言』策定 東入間少年サッカー大会２０周年を記念して 浦和レッズＯＢによるサッカー教室を開催	上福岡市と大井町が合併して『ふじみ野市』が誕生 富士見ふるさと祭り開催
２００６年　小学校の総合学習での道徳教育を開始（現在も形を変えて継続） 三芳町長選公開討論会開催	関越自動車道の三芳PAに『スマートIC』が常設化 上福岡駅西口前に『ココネ上福岡』が開業 富士見市立つるせ台小学校開校
２００７年　創立25周年記念事業開催『東入間ムーンライトウォーク』 『この国にスポーツマンシップを』開催（荻原健司氏）	ふじみ野市合併後初の市議会議員選挙実施
２００８年　富士見市長選公開討論会開催 東入間エコウェーブ開催 『夜回り先生講演会』開催（水谷修氏）	入間東部広域斎場『しののめの里』供用開始 東武東上線が『TJライナー』運転開始（ふじみ野駅に停車）
２００９年　ふじみ野市長選合同街頭演説会開催 東入間Ｂ級グルメ発案	『富士見川越有料道路』（国道２５４号線バイパス）が無料化 三富新田が『にほんの里１００選』に選定 ふじみ野市立東台小学校開校
２０１０年　東入間ファミリーコンサート開催 東入間ウォーク開催（防災テーマ）	三芳町制施行40周年を記念して三芳町マスコットキャラクター『のぞみちゃん』誕生 関越自動車道の三芳ＰＡに『Ｐａｓａｒ三芳』が全面開業 富士登山事業開催 ふじみ野市が平和都市を宣言
２０１１年　東日本大震災復興支援活動 東入間防災フェア開催	東日本大震災発生 ふじみ野市ＰＲ大使マスコットキャラクター『ふじみん』誕生
２０１２年　創立３０周年記念事業開催（映画『ふるさとがえり』上映会） 『今、日本に必要な青年の力』開催（麻生太郎氏）	富士見市制施行４０周年を記念してマスコットキャラクター『ふわっぴー』誕生 アウトレットモール・リズム跡地に『ショッピングセンター・ソヨカふじみ野』開業
２０１３年　『いのちの授業in 東入間』開催（寺田恵子氏）	ららぽーと富士見着工
２０１４年　『今昔ウォーク～僕らの細道～』開催	吉澤ひとみさんが三芳町広報大使に任命
２０１５年　一般社団法人格取得 時空サムライ『ジェイス』誕生	ふじみ野市誕生１０周年
２０１６年　東入間防災フェアを三芳町で開催 『東入間サミット～地域と私たちの未来のために～』開催	ふじみ野市・三芳町環境センターオープン ららぽーと富士見開業
２０１７年　第7回東入間防災フェア 同時開催 創立35周年記念事業『東入間丼グランプリ』開催	富士見市制施行４５周年記念事業ももクロ春の一大事２０１７in富士見市 ～笑顔のチカラ　つなげるオモイ～開催